

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	研修部会	部会長・担当者	山田 正寛(あおぞら)
-----	------	---------	-------------

メンバー:

企画委員: 山田(あおぞら) 突貫(華の浦) 家永(つぐみ) 福田(みらくる楽さん家) 村川(防府市社会福祉協議会)

アドバイザー: 竹原(ゆめサポート相談所) 津田(夢かれん) 沖井(たいよう) 古谷(三田尻訪問看護ステーション)

部会員: 各事業所 1名

テーマ: 一人で悩んでいる人がいない防府市	
長期目標	サービス提供職員全体の資質向上
令和2年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○他部会や事業所間のネットワーク作り ○研修を用いて部会員及び各事業所のスキルアップ ○研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り ○地域課題を基にした防府研修の企画・運営
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン研修の経験不足及び機材不足 ○研修参加人数の減少 ○コロナ感染予防による研修企画及び打ち合わせ会議の回数減少
活動内容	<p>○研修企画 随時オンラインにて開催。(10回程度開催)</p> <p>○防府研修 日時 2/19(金) オンラインにて開催。 zoom を用いたオンライン研修に触れてみることを主題とした。</p> <p>○その他・気づき コロナ感染症により企画会議の回数が激減したと共に、不慣れなオンライン会議の為、進行が思う様にできなかった。また、集合会議を行うことが難しかった為、情報共有に課題を感じた。また、司会が全進行を行う為、不慣れだと会議が思う様に進まない傾向があった。オンラインに慣れてくることで、共有ドライブの使用等、利点を感じることもできた。</p>

令和3年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	研修部会	部会長・担当者	山田 正寛（あおぞら）
-----	------	---------	-------------

メンバー:

副部会長…突貫(華の浦)

企画委員…家永(つぐみ) 福田(みらくる 楽さん家) 村川(防府市社会福祉協議会)

アドバイザー…竹原(夢サポート相談所) 津田(夢かれん) 古谷(三田尻訪問看護ステーション) 沖井(たいよう)

部会員…市内事業所から1名参加

テーマ：一人で悩んでいる人がいない防府市	
長期目標	サービス提供職員全体の資質向上
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他部会や事業所間のネットワーク作り ・研修を用いての部会員及び各事業所のスキルアップ ・研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り ・地域の課題を元にした防府研修の企画・運営
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会の周知及び参加率の向上 ・誰でも質問や発言ができる雰囲気作り ・地域で困っていることを元にした研修作り ・オンライン研修等リモートの機材不足 ・コロナ感染状況による運営方法の変化 ・企画委員の人材不足
活動内容(予定)	<p>※研修企画 リモート会議にて開催。 研修会については、YouTube やビデオ、講義形式等を用いて開催する。</p> <p>※企画会議 リモートにて開催。 日程については、各事業所の予定を考慮し開催する。</p> <p>○基本的にリモート会議を用いる。 ○研修開催についてはコロナ感染状況によって検討する。</p>

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会実績報告～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

クローバーセンター、デパール、防府総合支援学校、心促福祉作業センター、ふれんず、コロニー協会、愛光園、あおぞら、夢かれん、はあと、防府商工会議所、丸久、防府若者サポートステーション、ハローワーク防府、防府市障害福祉課

テーマ：働く意欲のある人が「頑張って働こう！」と思える職場がある防府	
長期目標	<p><一般就労> ・ 障害者雇用の企業が増える ・ 働く障害者の力が発揮できる。</p> <p><福祉就労> ・ 工賃が最低賃金に少しでも近づく。 ・ 働く意欲のある障害者が活躍できる場所がある。</p>
今年度の目標	<p><一般就労> ・ コロナ禍による障害者雇用の課題を把握し、協議会として取り組めることを考える。</p> <p><福祉就労> ・ コロナ禍による福祉的就労の課題を把握し、協議会として取り組めることを考える。</p>
課題	<p><一般就労> ・ コロナ禍による雇用情勢の変化（求人の減少、雇い止めなど）</p> <p><福祉就労> ・ コロナ禍による作業活動の減少、施設受け入れの体制など</p>
活動実績	<p><執行部> *年2回の活動実施（6/9、3/30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動（研修会、見学会）範囲について検討した。コロナ禍でこれまで通りの活動ができないことを確認。可能な範囲で、委員の情報交換を今年の活動計画とした。（6/9） ・年度の振り返りと、次年度へ向けての意見交換を行った。各委員からは「先が見通せず厳しい状況であった」「厳しい中での情報交換は心強かった」「3年度も、2年度同様に関係機関での情報交換や連携の維持」「部会活動、組織の見直し」等の意見が出た。（3/30）
	<p><企業部> *年2回の活動実施（6/30、12/1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状報告と情報交換を行った。各委員からは「企業実習の減少」「飲食業、観光業、交通関係企業が大きな影響を受けていること」「在宅ワークへの支援」「企業への立ち入りが難しく、電話やメールによる支援が増えた」等の意見が出た。（6/30） ・コロナ禍による求人状況や労働行政の対応について、ハローワーク防府の奈古屋さんより説明を受けた。また、参加委員からの現況報告を行った。（12/1）
	<p><福祉部> *年3回の活動実施（6/30、9/29、11/26）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状報告と情報交換を行った。各委員からは「感染防止対策の実施」「作業受注の減少」「事業所休業」「在宅支援の実施」「利用自粛のお願い」「工賃収入、利用料収入の減少」等の意見が出た。（6/30） ・現状報告と情報交換を行った。各委員からは「感染防止状況」「利用が戻ってきた」「実習の受け入れを再開」「作業量が戻ってきた」「工夫した行事の実施」「運動会や修学旅行等の中止」等の意見が出た。（9/29） ・テーマを「就労意欲を高める方法」として、座談会を実施した。（11/26）

令和3年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動計画～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

クローバーセンター、デパール、防府総合支援学校、心促福祉作業センター、ふれんず、コロニー協会、愛光園、あおぞら、夢かれん、はあと、かりん、防府商工会議所、丸久、防府若者サポートステーション、ハローワーク防府、防府市障害福祉課

テーマ:

働く意欲のある人が「頑張って働こう！」と思える職場がある防府

長期目標	<p><一般就労> * 障害者雇用の企業が増える * 働く障害者の力が発揮できる。</p> <p><福祉就労> * 工賃が最低賃金に少しでも近づく。 * 働く意欲のある障害者が活躍できる場所がある。</p>
今年度の目標	* 就労支援部会の「あり方」「役割」「活動」「体制」等を見直し、地盤固めを行う。
課題	<p>* コロナ禍により、幅広く人を集める等の活動が厳しい状況になり、これまで行ってきた活動の見直しが必要となっている。</p> <p>* 部会設立から10年が経ち、活動・体制等がマンネリ化している。その為、あり方や役割の再確認が必要となった。</p>
活動内容(予定)	* 執行部を中心に「あり方検討会議」を開催する。必要に応じて、障害者就労に関わる事業所や関係機関の参加を要請し、幅広い意見の中から方向性を導き出す。

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	白石（ゆめサポート相談所）
-----	---------------	---------	---------------

メンバー：めばえ友の会・防府市肢体不自由児父母の会・手をつなぐ育成会・くるみの会
親父の会・ひめりんごの会・アップルクラブ・山口県自閉症協会防府分室
ポプリの会・わかくさ園保護者会・障害福祉課・ゆめサポート相談所

テーマ：保護者も当事者もきょうだいも家族みんなが困らない社会を目指して

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの不安を考えていき、何が必要なのかを考える。 ・当事者に近い、親の意見・要望を集約して届けていく為にも、部会員が増えるといい。長く参加されていない団体にも改めて参加を呼び掛けていくし、各団体の会員がどうすれば増えるかについても協議できると良い。
本年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 新型コロナの状況下において、どう保護者サークルを開催していくか、その方法を模索すること ② 成年後見制度について理解や連携促進
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者本人の団体が防府に無いこと。 ・部会の参加団体が減っていること。各団体それぞれの会員自体が減っていたり、高齢化があること。
活動内容	<p>◆令和2年5月：新型コロナの状況にて開催中止</p> <p>◆第1回定例会 令和2年7月14日（火） 会場：身体障害者福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の取り組みについて協議し、上記の2つに。 ・差し当たって、防府市身体障害者福祉センターが休館されない限りは、今後も保護者サークルを開催していくことに。 ・成年後見については、防府市成年後見制度利用促進検討会の委員である、讃井氏を通じて情報共有を行いながら、声を届けていくことに。 ・「18歳以上の、24時間対応を要す等の事情ある、障害の子を抱えた親が新型コロナに感染した場合にどうなるのか」について、不安の声が挙がる。 <p>◆令和2年9月：台風10号にて開催中止</p>

- ◆第2回定例会 令和2年11月10日(火) 会場：身体障害者福祉センター
 - ・新しい様式にて集まっている団体がある一方で、今月初めて会合をもつ団体も。ストレスや相談がたまっていると皆から要望あつての初開催に至った。リモートでは雑談が難しいが、まさにそれこそ皆が求めていることで、愚痴を言い合ったり、なにげない雑談や気軽な相談こそ、サークルや団体にとって大切なことと再認識できたし、コロナ下ではそれが難しい。
 - ・今年度の活動については、やはり会場が利用可能な限りは、この連絡会を開催していくことに。利用不可＝感染リスクも高い状況であろうということ。

- ◆第3回定例会 令和3年1月12日(火) 会場：身体障害者福祉センター
 - ・市のパブリックコメント募集について協議
防府市成年後見支援センターの人員配置が当初の7人→2人に減っているが、もっと人員は必要と思う/市内の生活介護を増やしてほしい、等の意見が出る。
 - ・山銀支店長と地域包括や讃井氏らが、1/20に介護や成年後見について意見交換会があるとのことで、この連絡会においても協議。
亡くなられた場合の口座凍結が大変。本人がATMを使えない。信金では代理人制度がある、等々の意見が出る。お金の管理や相続などで、現行の制度で使いづらいところニーズがあるのでは、となる。

- ◆第4回定例会 令和3年3月9日(火) 会場：身体障害者福祉センター
 - ・防府市成年後見制度利用促進の為の指定中核機関として、4月に開設予定の『防府市成年後見支援センター』について、讃井氏より状況報告あり。

広くパブコメを求めるはずが、新型コロナの為に、本年度は立ち上げが最優先になってしまった。今後地域連携の為に、当事者団体・銀行・地域との関係連絡会議を年1,2回行っていく方向。→ そこにこちらの意見も届けていくことに。

後見人に全てお任せでなく、申し立て後のフォローアップや、本人と後見人との相性・互いの信頼関係について等、マッチングの支援にも力を入れ、場合によっては後見人の交代手続きのお手伝いも行われる。初めの相談～選任後まで、多面的に長く関わることになる。また、後見のみならず、権利擁護や生活困窮等も含めて、本人や親亡き後の為のワンストップの相談機関を目指す、とのこと。

↓

「本当にワンストップで相談できるのか？フォローしてってくれるのか？」
「これまで社協に相談してもそんな感じではなかったが…実現すると良いが」といった声が挙がる。

※令和3年度以降も、上記の関係連絡会へこの心配・要望は届けていく。

 - ・前回協議した、意見交換会についても讃井氏より報告あり。
銀行としては後見よりも、金融商品として民事信託を勧めたい様子であった由。

令和3年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	白石（ゆめサポート相談所）
-----	---------------	---------	---------------

メンバー：めばえ友の会・防府市肢体不自由児父母の会・手をつなぐ育成会・くるみの会
 親父の会・ひめりんごの会・アップルクラブ・山口県自閉症協会防府分室
 ポプリの会・わかくさ園保護者会・障害福祉課・ゆめサポート相談所
 クローバーセンター（今年度より参加！）

テーマ：保護者も当事者もきょうだいも、家族みんなが困らない社会を目指して

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> • みんなの不安を考えていき、何が必要なのかを考える。 • 当事者に近い、親の意見・要望を集約して届けていく為にも、部会員が増えると良い。長く参加されていない団体にも改めて参加を呼び掛けていくし、各団体の会員がどうすれば増えるかについても協議できると良い。
今年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害時の避難について 2 新型コロナの状況下において発生する、心配なこと・困っていることについて
課題	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ下で、いかに会員の声をすくいあげるかが困難になっている（下記参照）。 • 当事者本人の団体が防府に無いこと。 • 部会の参加団体が減っていること。 <p>各団体それぞれの会員自体が減っていたり、高齢化があること。</p>
活動内容（予定）	<ul style="list-style-type: none"> • 第1回目の定例会 令和3年7月13日（火） 会場：身体障害者福祉センター →今年度の取り組みについて協議と、各団体からの状況報告。 <p>※以降、奇数月の第二火曜日に定例会を実施予定（5・9月はコロナの状況で開催中止）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 災害時の避難について 現状がどうなのかを確認しつつ、協議した課題や要望の声を挙げていくことに。 とりあえず上がった意見としては、 <ul style="list-style-type: none"> • 他市のように、福祉避難所へ本人と家族が、直接避難できれば良い。 • 感覚過敏等でマスク装着困難だったり、慣れない環境下で本人も不安感が増強したりで、他の人に迷惑をかけないかが心配。 • なので、在宅避難予定だが、その場合、支援物資は受け取り可能だろうか。

②新型コロナの状況下において発生する、心配なこと・困っていることについて
 新しい生活様式＝生活環境の激変期において、その時その時に出てくる、
 困ったことや心配なことを共有しつつ、課題や要望を挙げていこう。

とりあえずの意見としては、

- コロナ下で、会員の声をすくいあげにくくなっている。
 参加者や会合自体が減り、集まりにくくなっている。
 対面で話せないことから、繋がりにくくなっている。
 これまで熱心に参加していた人が、ついに家族の反対で参加を辞めたりも。
- 障害者雇用においても、業績悪化による解雇が起きているが、
 コロナで仕方ない…と抱えこんでしまっているケースが多いのでは。
- コロナ下で、障害でない人も大変なのに…とってしまう。

本年度の取り組みについて、上記2点に決まったが、他にも下記の意見・要望あり。

- パブリックコメントについて、大切な政策・せっかくの機会であるのに、
 届く意見が余りに少ない為、情報共有や協議をしてはどうか。
 →問題が認識できていれば、何か書きやすいが、それが少ないとの意見あり。
 とりあえず、募集中のパブコメについて、情報提供はしていくことに。
- 重層的支援体制整備事業（下記参照）への要望
 特に、「属性を問わず受け止める窓口での相談→フォローアップ」を望む声多し。
- 緊急時のショートステイの拡充をしてほしい
- 利用中の事業所で新型コロナが発生した時など、他の利用サービスも
 お休みすることになるのが、仕方ないと思う一方で、そうなるとても大変。
 噂も錯綜して翻弄されるし、自分達も安易に言えない。

難しいとは思うが、市内の事業所等での発生状況や対応といった情報について、
 このページを見れば状況が把握できる…ということに、なったりしないだろうか。

『重層的支援体制整備事業』

地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、複雑・複合的な課題や狭間のニーズへの対応が困難になっている現状。



重層的支援体制整備事業は、市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須。しかし、努力義務＝市町村の任意事業。

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	徳久 央子(防府市なかよし園)
-----	-----------	---------	-----------------

メンバー:加ハセセンター、なかよし園、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、はなのうら、つぐみ防府、つぐみ右田、アンジュ、たいよう、ひまわり、たんぼぼ、てだのふあ、あゆみの里、りぷらす、放課後りぷらす、jump、キャパス、楽さん家、華の浦相談、ほのぼの相談室、事業団ホームハセセンター、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課、子ども家庭支援センター海北

テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～
発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく

長期目標	関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり
令和2年度の目標	○関係機関の連携維持・強化 ○部会員の資質向上（成人期に向けた療育・支援について把握） ※療育・支援の検討に向け、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で共有した基盤を作る。
課題	○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援とは何か知ること途切れない支援の体制基盤が作れるのではないかと。 ○事業所職員の入れ変わりの多い中で、部会員の資質の向上を目指すためにはどうすればよいか、検討していく。
活動内容	○定例会の開催 ・第1回 子ども発達支援部会（研修会） 日時：令和2年10月16日（金）10時～12時 場所：防府市役所1号館3階南北会議室 内容：障害児に関わる教育制度を理解して教育と福祉の連携について考えよう！ 講師：防府市役所学校教育課 ・第2回 子ども発達支援部会（研修会） 中止 日時：令和3年1月25日（金） 場所：防府市役所1号館3階南北会議室 内容：現在感じている課題について話し合おう（グループワーク）

<p>活 動 内 容</p>	<p>○企画会議の開催等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー打ち合わせ…2回 <p>○その他・気づき</p> <p>コロナ禍の影響で今年度は集合研修一回のみの開催。障害児に関わる教育制度に関することについての研修ではスクールカウンセラー、地域コーディネーターの役割について学ぶ機会となった。グループワークでは情報共有だけでなく、顔が見える関係作りになっていることはコロナ禍を経験して重要なことであると痛感する。</p> <p>来年度は集合研修だけでなくオンラインを活用しての開催も検討していきたいと思う。今後も部会員の資質向上を目指しながら関係機関の連携維持、強化を図っていきたいと考える。</p>
----------------------------	---

令和3年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	徳久 央子（防府市なかよし園）
-----	-----------	---------	-----------------

メンバー：なかよし園、はなのうら、つぐみ防府、つぐみ右田、アンジュ、たいよう、ひまわり、たんぼぼ、てだのふあ、あゆみの里、りぶらす、放課後りぶらす、jump、キャバス、みらくる楽さん家、ミライエ楽さん家、フィールド、加ハセンター、華の浦相談、ほのぼの相談室、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、事業団ホムカセンター、子ども家庭支援センター海北、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課

テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～

発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく

長期目標	関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり
今年度の目標	○関係機関の連携維持・強化 ○部会員の資質向上 ※療育・支援の検討に向け、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で共有した基盤を作る。
課題	○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援を教育と福祉等との連携で途切れない支援の体制を検討する。 ○家庭との連携や、ご家族の思いや悩みを受け止めたり事業所としてどのような保護者支援を行うことができるか考えていきたい。
活動内容（予定）	○定例会の開催（年2回） ・第1回目 令和3年10月頃(日程調整中)…保護者支援について(仮題) 講師 山口県立大学 藤田久美先生 ・第2回目 令和4年1月頃…今年度の振り返りと来年度に向けて (グループワーク) ○企画会議の開催（随時） ・定例会の準備